

令和3年

# 秋の叙勲褒章

～長年の功績をたたえて～

令和3年11月3日に発令された、秋の叙勲褒章の市内受章者を紹介します

※年齢は発令時点

## 旭日双光章

なかじま たかし  
中嶋 隆史 さん  
(住吉町・73歳)

—食品衛生功労—



昭和45年4月から実家の飲食店に従事し、昭和63年から食品衛生指導員として、食品衛生の重要性を深く認識するとともに、その普及啓発および営業者の指導などに尽力されました。また、鷹巣食品衛生協会会長や、平成19年から秋田県食品衛生協会副会長を歴任され、長きにわたり組織の育成強化と食品衛生思想の普及や自主衛生管理の確立などにも大きく貢献されました。

## 旭日双光章

ごとう ひさみ  
後藤 久美 さん  
(下杉・75歳)

—農業振興功労—



昭和39年4月から農業に従事し、農地の集団化や利用集積に尽力され、地域の比内地鶏飼育の先駆者として一大産地化と水田農業の営農モデルを確立するなど、地域の農業振興に貢献されました。また、昭和53年7月に合川町農業委員に就任以来、平成11年8月から秋田県農業会議副会長、合併後も引き続き北秋田市農業委員会会長を務め、現在も農地行政の中心的役割を担い尽力されています。

## 瑞宝単光章

まつはし さちこ  
松橋 幸子 さん  
(阿仁比立内・68歳)

—児童福祉功労—



昭和48年から阿仁町臨時保母、昭和53年4月から同町保母職に採用となり、以来、合併後の平成25年3月まで40年の長きにわたり、地域の社会福祉の発展に尽力されました。また、在職中には北秋田地区保育士会会長、大館北秋田地区保育協議会会長を務め、近隣市町村の保育園との交流や保育士の養成と保育園の環境改善に積極的に取り組むほか、現在も地域の児童健全育成に大きく貢献されています。

## 瑞宝双光章

さとう とみお  
佐藤 富男 さん  
(綴子柳中・72歳)

—警察功労—



鷹巣農林高校卒業後、昭和44年4月から警視庁に入庁となり、以来、平成21年3月までの長きにわたり、日夜職務に精励し、強い責任感と不断の努力で治安維持に尽力されました。また、東京都昭島署勤務を皮切りに、機動隊、地域安全課、留置担当課など、都内各署で積極的に危険業務従事の任務にあたられ、警部として公共の安全安心と秩序の維持向上に大きく貢献されました。

ちいき  
の話題  
- 拡大版 -

# 中嶋 オリックス・バファローズ V

～25年ぶりの栄光・就任1年目に3度宙を舞う～

祝 **パ・リーグ優勝**  
**中嶋オリックス**  
北秋田市

### ◆中嶋選手へ監督就任へ

中嶋監督(52歳)は、鷹巣中央小学校で投手、鷹巣中学校では強肩強打の中堅手として全国大会にも出場。そして、鷹巣農林高校(現秋田北鷹高校)では捕手に転向し、チームの中心選手として活躍しました。

昭和62年にドラフト3位で阪急ブレーブス(現オリックス)に入団。現役時代には、上田利治監督、仰木彬監督など名将の下でプレーし、平成7、8年のオリックスの連覇では正捕手として貢献しました。平成9年オフに西武ライオンズ、平成15年に横浜ベイスターズ(現DeNA)、平成16年に日本ハムファイターズに移籍となり、46歳で引退する平成27年までの29年間、強肩捕手で知られ、4球団でプレーしました。実働29年はプロ野球タイ記録で、ベストナイン、ゴールデングラブ賞、最優秀バッテリー賞などのタイトルも獲得しています。

また、日本ハム在籍時にはゼネラルマネージャー特別補佐に就任。業務提携球団であるメジャーリーグ西地区のサンディエゴ・パドレスでコーチ留学も経験し、帰国後にバッテリー兼作戦コーチを務めました。

### ◆投げが面白いチームが変貌

今季のオリックスは、1番福田、2番宗、3番吉田正、4番杉本と、ファンの間で「福宗正杉」と呼ばれる打線が固定し、チーム打率と本塁打数がリーグトップで、吉田が首位打者、杉本が本塁打王と打線が変貌。また、生まれ変わった打線に加えて、投手陣では東京五輪「侍ジャパン」でも活躍した投手4冠のエース山本を筆頭に、入団2年目左腕の宮城が頭角を現し、この左右の二枚看板で勝利数と防御率のリーグトップと2位を独占するなど投げが大活躍しました。最終盤までもつれたロッテとのデッドヒートでしたが、前年最下位からの優勝となりました。

### ◆中嶋監督の手腕

中嶋監督は、今季の開幕前に「日本シリーズまで描いている」と選手に伝え、2年連続最下位に低迷したチームの改革に着手。ベテランをはじめ、選手のコンドিশョンに配慮したベンチの雰囲気づくりとチーム全体の育成を進めました。また、二軍監督時に素質を見出した選手を積極的に起用するなど、若い力が開花したこともリーグ制覇への大きな原動力となりました。



▲オリックス・バファローズ二軍監督の就任報告で津谷市長を訪れた中嶋監督(平成30年12月28日撮影)

オリックス二軍監督への就任が決まった当時、就任報告で市役所を訪れた際には「二軍は一軍に選手を送り込むところ。米国でのコーチ留学で学んだことは、技術を教えるより選手をどう起用するか。選手の長所を伸ばすところが大事で、誰にでも一軍に上げられるチャンスを与え、足りないところは何か伝えたい」などと津谷市長に抱負を述べています。このように、名将の下でプレーし、複数球団での経験を活かして実践した中嶋監督の手腕によるところが大きく、陰のMVPといえます。中嶋監督は、チームを優勝に導いた手腕が評価され来季の続投が決定し、常勝中嶋オリックス物語の幕開けです。日本ハム新庄劇場でさらに目が離せないパ・リーグ。中嶋オリックスの熱い戦いに注目しよう!

## 「市長と語ろう! タウンミーティング」を開催します!!

市民の皆さんが普段の生活で感じていることを、市長と直接話し合う「市長と語ろう! タウンミーティング」を開催します。今回は「地域づくり・活性化に取り組むグループと語る北秋田市」をテーマにトークセッションを行います。ファシリテーターには秋田大学北秋田分校長の三浦栄一さんをお迎えし、地域づくり・活性化に意欲的に取り組んでいる皆さんが考えている率直な意見・提言を市長とともに大いに語り合いたいと思います。ぜひ、一般市民の皆さんにも、参加者が描くこれからの北秋田市への思いをお聞きし、ともに語り合う機会にしたいと考えています。(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者多数となった場合、入場を制限することがあります)

日時 令和3年12月12日(日) 13時30分～  
場所 市民ふれあいプラザ「コムコム」多目的ホール  
事前申込不要  
問 総合政策課政策係 ☎62-6606